

プロバイダ拡販のツールに

アンカーネットワークサービス

再生PC、8000台／月販売

アンカーネットワークサービス(東京・葛飾、碓隆司社長、☎03・36600・5873)は、Windows7をインストールするなどエンドユーザー向けに加工して出荷する「リユースパソコン(再生PC)」の出荷台数が月間8000台を超えたことを明らかにした。再生PCをインターネットサービス提供事業者の拡販ツールとして提供するなど、販売パートナーを多く得ることにより販売台数の拡大を図っている。

同社では、これまでサイトを中心に進めて用する契機になったの
エンドユーザー向けのきた。プロバイダ契約は「正規のWindows OSがインストールの販促ツールとして活



新工場エコラインステーション

PCの再生作業

ールされた中古PCを販売できるように「たことだ」という。

2009年にスタートした「Microsoft Authorized Return (MAR) プログラム」と呼ばれる同システムでは、マイクロソフト社から認可を受けた再生事業者が中古PCに正規のWindows7やXPを搭載できるようにした。セキュリティリスクが抑えられ、ワイドやエクセルといったオフィスソフトもインストールできる。

正規OSがインストールされた中古PCの登場により、エンドユーザーの利用が格段に伸びたため、同時期にサポート体制も充実させた。トラブルの発生

や操作方法が分からないときなどのために「中古PCサポートコンシェルジュサービス」として、電話とリモート、訪問によるサポートサービスを提供している。

製品の品質向上にも取り組んでいる。販売した中古PCには1カ月の動作保証が付く。出荷したPCのうち、不良品となるのは2・5%程度で、新品PCと変わらないレベルにまで到達した。再生の工程を検査、インストール、クリーンング、ライセンス管理、梱包の5ブロックに分けて、作業者と別のスタッフがそれぞれの工程ごとに検査することで検査精度を高めている。

同社は1993年の創業。PCを中心としたOA・通信機器のリースとリサイクルを展開する。ハードディスクドライブだけでなく、フロッピーディスクや磁気テープなど各種メディアのデータを消去するサービスも提供している。